

令和6年度 第3回 学校運営協議会 議事録

1 期 日 令和7年2月4日(火) 16:00~16:35

(マイプロジェクトアワード参加グループ発表 15:35~16:00)

2 場 所 岩手県立金ケ崎高等学校 会議室

3 出席者(敬称略)

小澤 賢 佐藤 和重 鈴木 知里 小原 明男 大森 啓睦

小原 拓也 有住 龍星

三森 健 佐々木順一 佐々木健一 照井真由美 後藤 裕介

菅野 由香 千葉 一弘(書記)

4 次 第

(1) 開会のことば

(2) 校長あいさつ

(3) 会長あいさつ

(4) 協議

(5) その他

(6) 閉会のことば

5 協議の概要

■令和6年度学校教育活動成果並びに評価について

【委員】

・『学校評価アンケート結果』の「生徒向け：1.開かれた学校づくりを推進している」の項目が昨年度よりも下がっている点について、部活等で地域との関わりが増えているので、ちょっとずつ地域に開かれていっていると思っていたが、生徒の感覚としては、まだまだ開かれていないと感じているようだ。

【委員】

・『授業評価』の「授業の内容はよくわかるか」という質問項目について、先生方はわかりやすい授業を行っているかもしれない。生徒の方で授業についていけない要因もあるのかと思う。

【委員】

・『いじめ防止アンケート結果』のいじめ認知件数について、高校は少ない、という印象である。仲間はずれ・悪口・無視のような内容でも2件くらいで済んでいる要因はあるのか。

【学校】

・生徒107名に対して教員20名おり、大体1学年6名で対応している。この6名で学年20人~40人の生徒を見ていることになり、常に生徒を見ている体制になっている。いじめ対策委員会に上がってこないトラブルも、生徒の様子を見て、日々声掛けしているため、話しやすい環境になっている。そこが少人数であることのメリットなのかもしれない。生徒数が少ないから、生徒の変化に気づきやすい。

【委員】

・いじめへの対応は、永遠のテーマかもしれない。大人の職場での人間関係の調整でも、以前の成功事例が役に立たなくなっている。ケースバイケースで対応せざるを得ない。

【委員】

- ・『いじめ防止アンケート』は、こういった形で行っているのか。生徒・保護者にアンケート用紙を渡して行っているのか。また、その回答率はどうなっているのか。

【学校】

- ・生徒・保護者ともに、Web上の回答フォームからアンケートを入力してもらっている。
- ・回答率については、生徒はほぼ全員回答している。保護者は100%にはならないが、三者面談等でお願いして入力してもらっている。
- ・「いじめ防止アンケート」は誰が入力しているかわかる形で、「学校評価」はわからない形で回答してもらっている。

【委員】

- ・数年前にいじめで苦勞した年があったが、いじめがあってもすぐに対応できている点が素晴らしい。それに付随して、『学校評価アンケート』の「生徒向け：9.生徒の相談や悩みに対して親身になって対応してくれる教職員がいる」の質問に92%が肯定的な回答を持っている。この点がいじめの件数が減っている要因なのかなと思う。また、「先生向け：12.生徒の健康観察・管理、心理的安定に努めて指導・支援を行っている」の質問に100%の先生が肯定的に回答している。先生方の努力に頭が下がる思いである。
- ・「生徒向け：1.保護者・地域の声に応えた、開かれた魅力ある学校づくりを推進している」と「3.保護者や地域の人と連携して教育活動を行っている」の項目について、地域との連携を続けていき、地域の方に金高を知ってもらえれば、金高に入りたいという子供が増えるのではないかな。ただ、地域の方が学校に関わっているのだが、高校生にとって地域の人として認識されないのかもしれない。すごく関わっているのに、高校生がピンときていないだけなのかもしれない。

【委員】

- ・大学共通テストの際、朝早くから先生たちが応援しに来てくれていた。他の学校にはそのような光景が見られなかったようである。朝、先生がいたということでリラックスして受験できたということであった。親身になって対応してくれている先生がいる、の具体例かな、と感じる。

【委員】

- ・『学校評価アンケート』の「生徒向け：9.生徒の相談や悩みに対して親身になって対応してくれる教職員がいる」の肯定的な回答が多いことは、いじめの少なさに通じているのではないかな。
- ・地域との関わりについて、先に発表してくれたAEDの普及に関して、これをきっかけに普及活動を金ケ崎の6地区で、高齢者に対して、高校生主導でやろうとすれば、消防がやろうというより、取り組みに参加しようと思うかもしれない。高齢者に高校生が柔らかく教えてあげる。このことや絵本を活用することで、金ケ崎のお年寄りや子供たちと接点が増えるのではないかな。

■令和6年度課題研究発表会について

【学校】

- ・2月22日に10:45～出入り自由で実施する。1クールでもよいので参観して、ご意見いただきたい。

【委員】・感想を紙に書いて入れるボックス等があれば参考になるのではないかな。

【学校】・担当者の方で、Web入力フォームを用意しているので、そちらを利用してほしい。

以上